



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
6/24 (月)	+ 100	+ 4,000	+ 4,100	国庫短期証券発行償還 (3M)	CP等買入 ▲ 300 国債補充供給 + 25,100		日：日銀金融政策決定会合における主な意見 (6月13・14日分)
6/25 (火)	+ 1,000	+ 1,000	+ 2,000				日：景気先行CI指数 (4月)
6/26 (水)	▲ 1,000	▲ 14,000	▲ 15,000	国債発行 (20年)	共通担保 ▲ 8,000		
6/27 (木)	トシ	+ 3,000	+ 3,000				米：新規失業保険申請件数 (22日終了週) 米：GDP (1Q、確定値)
6/28 (金)	▲ 700	+ 9,800	+ 9,100				日：有効求人倍率 (5月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比4,400億円増加の548兆3,000億円から始まった。その後、国債買入オペや国債償還等の要因により、21日には554兆1,900億円 (速報) まで増加し越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.077%から始まった。その後もビッドサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばい圏で推移した。

ターム物は1W~1M物を中心に0.15%~0.20%のレンジで出が見られた。

来週の予定は、国内では、日銀金融政策決定会合における主な意見 (6月13・14日分) の公表、28日に有効求人倍率 (5月) の公表などがある。海外では27日に米GDP (1Q 確定値) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.07 ~ 0.078
1M	0.15 ~ 0.20
2M	0.15 ~ 0.30
3M	0.15 ~ 0.30
6M	0.30 ~ 0.50

<レポ>

足許GC取引は週初+0.05%を中心に出会い始め、後場に+0.08%近辺まで上昇した。

輪番オペがオファーされた18日は+0.04%~+0.05%で取引され、国債、短国の入札があった週後半は+0.07%~+0.09%のレンジで出会いが見られた。

SC取引は2年438~461回債、5年149~169回債、10年350~374回債、20年180~188回債、30年65~82回債、40年13~16回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.030 ~ 0.050
CP 3M	0.10 ~ 0.25

<CP>

今週の入札発行総額は約15,800億円で、週間償還額の7,000億円を上回った。発行残高は先週末時点の23兆6,360億円から6月20日時点で24兆490億円に増加した。

発行市場はガス業、卸売業、鉱業、鉄鋼業、化学業、小売業などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは銘柄や期間等によりばらつきが見られ、1M物から3M物で0.1%台前半から0.30%近辺での出会いであった。

来週の償還額は、約38,100億円となっている。発行市場は、発行体の四半期末に向けた有利子負債圧縮目的から、残高が一時的に減少すると予想される。発行レートは、引続き0.1%台前半からの出会いと予想する。

25日にCP等買入れオペが3,000億円でオファーされる予定となっている。

<TDB>

19日の1Y (1238回債) の入札は、最高落札利回り0.1492% (前回債0.2104%)、平均落札利回り0.1391% (前回債0.2034%) となった。

21日の3M (1239回債) の入札は、最高落札利回り0.0059% (前回債0.0119%)、平均落札利回り▲0.0035% (前回債0.0079%) となった。

来週の入札は、6月28日に3Mが予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。